

## 2025 年度 祥明大学校 短期研修報告書

熊本県立大学 総合管理学部 2 年 米山 千咲

この度私は 9 月 11 日から 18 日の 8 日間、韓国の祥明大学校への短期研修に参加させていただきました。私がこの研修に参加しようと思った理由は、韓国の現代文化の一つである KPOP に興味を持ち、次第に韓国語や韓国文化にも関心を持つようになったからです。現地で直接目にすることで日本と韓国の違いを実感し、貴重な学びになりました。

1 日目は、仁川空港から天安ターミナルに高速バスで移動し、歓迎会でサムギョプサルをいただきました。韓国の街並みは日本と比べて高い建物が多く、似たようなマンションが多いと思いました。天安ターミナルから出てすぐの繁華街ではカラフルな看板が多いという印象を受けました。



2 日目は教学部総長とお話をした後に、メガコーヒーや韓国式のプリクラであるインセンネッコを撮ったり、カラオケに行ったりしました。韓国にはカフェが非常に多く、価格も比較的安いいため、高齢者の方々も気軽に利用している様子が見られ、日本との違いを実感しました。さらに、プリクラでは撮影する枚数を選べたり、カラオケでは曲数に応じて料金を決められたりするなど、日本とは異なるシステムがあることも印象的でした。

3 日目はソウルに移動し、景福宮を訪れて韓服を着て散策しました。敷地内はとても広いと感じましたが、昔はさらに広大であったことを知り、とても驚きました。伝統的な衣装を身にまといながら歴史的な建物を歩くことで、韓国の文化や雰囲気より深く感じることができました。夜はチキンやチーズボールを食べ、その後明洞に向かいました。チーズボールは日本で食べたものとは全く異なり、ほんのり甘みがあってとても美味しかったです。明洞では屋台でタンフルや焼きマッシュマロアイスを食べたり、お土産を購入したりしました。夜遅くまで多くのお店が開いており、活気ある雰囲気の中で楽しい時間を過ごすことができました。



4 日目は弘大で観光を楽しみました。ファッションストリートにはおしゃれなカフェやアパレルショップが立ち並んでいて、歩くだけでもワクワクしました。お昼ご飯にはユッケとサンナクチを食べ、初めて動いているタコを口にしましたが、その独特な食感がとても印象的でした。夜は駱山公園で夜景を鑑賞しました。ライトアップされた公園でソウルの街並みを一望でき、とても美しく、ゆったりとした時間を過ごすことができました。



5 日目はロッテワールドに行きました。レンタルショップで制服を借りて、テーマパークの雰囲気を楽しみながらアトラクションを満喫しました。ジェットコースターのスリルだけでなく、気球のように園内の上空をぐるりと回るアトラクションもあり、小さな子どもから大人まで楽しめる施設だと感じました。

6 日目は漢江でラーメンを食べました。食事を始めようとした際に大雨が降り出し、濡れてしまいましたが、良い思い出になりました。その後は IFC モールを訪れ、お土産を購入したり、カフェで休憩したりして過ごしました。モール内には無印良品やユニクロなど、日本でも馴染みのある店舗が多く見られ、異国にいなながら親しみを感じられる点が印象的でした。

7 日目は韓国語講座を受講し、その後に発表会を行いました。講座では、飲食店での注文方法や韓国文化について学びました。特に「韓国文化は料理や音楽をはじめ、さまざまな分野でいろいろな要素を混ぜ合わせる特徴がある」という点が印象に残りました。発表会では、研修を通じて感じた日本と韓国の違いについて

て韓国語で発表しました。準備の際にはサポーターの方々が親身に支援してくださり、そのおかげでスムーズに発表を行うことができました。韓国語での発表は初めてで緊張もありましたが、大変貴重な経験となりました。

8 日目は天安バスターミナルでサポーターの方にお見送りをしていただき、その後日本に帰国しました。

私は今回の研修を通じて、日本との多くの違いを発見することができました。バスの乗り方や飲食店でのサービス、お通しの有無、さらには言葉のニュアンスなど、日常生活のさまざまな場面で文化の違いを実感しました。また、韓国の人々の優しさに触れる機会も多くありました。サポーターの方々は重い荷物を持ってくださったり、体調を気遣ってくださったりしました。さらに、コンビニの店員の方が日本語で話しかけてくださったり、お菓子をサービスしてくださったりするなど、親切な対応を受けました。

この 1 週間の研修は大変充実したものであり、異文化への理解を深めるとともに、自身の視野を広げる貴重な経験となりました。今後も今回の学びを活かし、国際的な視点を持って成長していきたいと考えています。